



公益社団法人 日本地理学会
「2019年日本地理学会秋季学術大会」
公開シンポジウム

新潟県中越地震 から15年 被災地の復興支援活動と 今後の課題

入場無料

申込不要(260席)
どなたでもご参加いただけます

日時: 2019年 **9月22日(日)**
12:50~16:45(開場 12:20~)

会場: **新潟大学五十嵐キャンパス**
新潟大学附属図書館
ライブラリーホール
(〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地)

Program

【司会】 福留 邦洋(岩手大学)、西井 稜子(新潟大学)

12:50~13:00 開催挨拶(趣旨説明)

福留 邦洋(岩手大学)

13:00~13:20 新潟県中越大地震復興基金が果たした役割

須貝 幸子(新潟県中越大地震復興基金)

13:20~13:40 災害時における GIS の活用と課題

坂井 宏子(にいがたGIS協議会)

13:40~14:00 新たな手法による棚田の復旧

吉川 夏樹(新潟大学)

14:00~14:20 中越地域における養鯉池の歴史の変遷

坂田 寧代(新潟大学)

14:20~14:40 住宅再建による地域コミュニティへの影響

福留 邦洋(岩手大学)

14:40~15:00 中山間地域における人的支援の変容

—地域復興支援員の役割—

伊藤 春陽(長岡市地域振興戦略部)

15:00~15:20 歴史資料にみる1961年長岡地震の災害状況

中村 元(新潟大学)

15:20~15:40 新潟県中越地震における震災関連資料の
収集・保全と展示について

筑波 匡介(福島県立博物館)

15:40~16:00 災害から生き抜く力を育む

新潟県防災教育の展開

諸橋 和行(中越防災安全推進機構)

16:00~16:45 総合討論

コメンテーター 伊藤 忠雄(新潟大学名誉教授)